



全身全霊を込めて打ち込まれる大槌

### 平成 19 年法華三郎打初式 守り継ぐ伝統と匠の技(松山)

1月5日、名刀「大和伝」を伝承する刀匠法華三郎家で、今年1年の作刀の安全と技術の向上を願う、平成19年の「打初式」が行われました。

後援会や地元の皆さんが見守る中、はじめに神事が行われ、続いて9代目法華三郎信房さんと息子の栄喜さん、先代の弟子だった早坂政義さんが、1,300度に熱した玉鋼に、息を合わせ力強く大槌を打ち込みました。四方に飛び散り、衣服を焦がすほどの火花を浴びながらの作業に、守り継がれてきた伝統と匠の技の一端が垣間見られました。



勝利を目指して果敢に攻める！

### 県中学校・高校スキー競技会 ほとばしる汗！快走するスキー(鳴子温泉)

1月14日・15日の両日、「第56回県高校総体スキー競技会」と「第55回県中総体スキー競技会」が開催されました。アルペン競技はオニコウベスキー場で行われましたが、クロスカントリー競技は、上野々コースが雪不足のため、山形県大蔵村の公認コースでの開催となりました。

夏は陸上や筋力トレーニング、冬は毎日のようにスキーの板に乗り、競技者としての心と技に磨きをかけてきた成果が遺憾なく発揮され、アルペン、クロスカントリー共に市内中学校・高校の生徒たちの活躍が光りました。

1月5日、大崎市民会館を会場に大崎市消防団の出初式が行われました。各支団、婦人防火クラブなどから800人が参加し、今年1年の無火災・無災害を誓い合い、14万市民の生命や財産をしっかりと守っていく決意を新たにしていました。

その後、市民会館から古川第一小学校まで、古川支団と婦人防火クラブ400人による「防火パレード」も行われました。そろいの法被に身を包んだ団員が、整然と行進しながら、道行く市民の皆さんに広く防火を呼びかけました。

### 大崎市消防団出初式 火災や災害のない1年に(古川)



皆さん火の用心をお願いします

1月14日、三本木の八坂神社で、どんと祭が行われ、14年前から「裸参り」が行われていて、今年も大崎商工会やJA古川の青年部の皆さんなど44人が参加しました。

雪が降り、身を切るような寒さの中、頭に鉢巻き、腹にさらし、手にはちょうちん、白足袋にわらじという姿で、大崎商工会三本木支所から八坂神社までの道のり約2kmを、無病息災や商売繁盛を願いながら一心不乱に練り歩きました。震える体に気合いを入れ堂々とねり歩くその姿に、沿道からは参加者を励ます声も聞かれました。

### 三本木どんと祭 裸参り 身を切る寒さに耐えながら(三本木)



参加した皆さんの祈願成就まじがいなし



目指せ世界チャンピオン！

### ボクシングチャンピオン相澤選手が市長訪問 世界チャンピオンへと突き進め(鹿島台)

東洋太平洋スーパーフライ級チャンピオンの座に輝いた、鹿島台出身のプロボクサー相澤国之選手が、12月27日、市役所を訪れ、市長にチャンピオン就任の報告をしました。

相澤選手は12月11日にボクシングの殿堂後楽園ホールで行われた、東洋太平洋スーパーフライ級タイトルマッチでKO勝利を飾り、見事チャンピオンの座に輝きました。

戦績は85戦73勝12敗。宮城国体では県代表として優勝しています。相澤選手は「次は世界チャンピオンとなって再び報告に訪れたい」と今後の活躍を誓ってくれました。



大人への第一歩を踏み出した新成人の皆さん

### 大崎市成人式 前途洋々輝かしい未来へ向かって(田尻ほか)

「成人の日」前日の1月7日、すでに夏に開催した鳴子温泉地域を除く6地域で、「平成18年度大崎市成人式」が行われ、1,288人(男687人・女601人)が各地域の成人式に出席しました。

田尻地域では、成人代表の富澤和之さんと青野円さんが「自己責任の大切さを感じながら、一步一步確実に目標に向かって歩いていく決意です。」と力強く誓いの詞を述べました。大人の仲間入りを果たした新成人の皆さん、それぞれの夢に向かって、ひたすら前進するのみです。



四方から一斉に手が伸びる！



自分がコマになってアガリを目指す

### 第15回岩出山歴史観光かるた・すごろく大会 遊びながら歴史や文化を学ぶ(岩出山)

1月14日、スコレハウスを会場に「第15回岩出山歴史観光かるた・すごろく大会」が開催され、62人の子どもたちとその保護者の皆さんが参加しました。

かるた大会は、岩出山の歴史や文化を子どもたちにしっかりと伝えていこうと平成2年から行われているもので、全47枚の絵札すべてに、岩出山地域の歴史や観光を題材にした絵と句が盛り込まれています。

大会が始まると一瞬の緊張と静寂が会場を包みます。そして読み札が読み上げられるやいなや、元気な「はい」という声とともに四方から手が伸び、その直後、子どもたちの一喜一憂した表情が見られました。

また、縦6.5メートル、横10メートルもの大きさがある「ジャンボすごろく大会」では、親子や友達同士が、サイコロを振る役とコマ役になって、行きつ戻りつしながらアガリを目指しました。

テレビゲーム全盛のこの時代、子どもたちは、昔ながらの遊びを通じて、ふるさとの歴史や文化を学ぶ有意義なひと時を過ごしました。